

2024年度住宅ローン貸出動向調査結果

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施した2024年度住宅ローン貸出動向調査結果をお知らせします。

調査結果の詳細は、機構ホームページをご覧ください。

(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_minkan.html)

調査の概要

本調査は、住宅ローンを取り扱う金融機関を対象に、住宅ローンの取扱状況についてアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

なお、本調査は住宅金融支援機構設立時から継続して実施しております（2020年度から調査名称を一部変更）。

（参考）調査実施時期：2024年7月～9月、回答機関数：301機関

調査結果の主なポイント ※ [] は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 約7割の金融機関が新規の住宅ローンの取組に積極的 [p. 4]

<新規の住宅ローンへの取組姿勢>

「積極的」 : 71.8% (2023年度調査 72.1%)

「自然体（現状維持）」 : 27.6% (2023年度調査 27.9%)

「消極的（慎重、縮小）」 : 0.7% (2023年度調査 0.0%)

2 住宅ローンの商品力強化の取組として「返済期間35年超のローン提供」の割合が増加 [p. 7]

<商品力強化の取組>

「返済期間35年超のローン提供」 : 75.8% (2023年度調査 57.0%)

「団体信用生命保険の保障内容の充実」 : 44.1% (2024年度からの選択肢) 等

3 日本銀行の金融政策変更を受けて、住宅ローン金利の見直しに関するお客さまからの照会が「増えている」または「多少増えている」と回答した金融機関は5割超 [p. 19]

<1年前（2023年6月末）と比べたお客さまからの照会状況の変化>

「増えている」または「多少増えている」 : 53.2%

「変わらない」 : 45.5%

「やや減っている」または「減っている」 : 1.3%

4 リバースモーゲージの新規貸出件数は引き続き増加 [p. 34]

＜リバースモーゲージ新規貸出件数＞

2021 年度実績：1,694 件

2022 年度実績：2,260 件

2023 年度実績：2,405 件（2022 年度比+6.4%）

本リリースに関するお問い合わせ先

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 西村／熊谷／中田／甲斐 TEL：03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp/>
